

手術などがきっかけで、リンパ管のなかを流れるリンパ液が体外へ漏れ出してしまふ「リンパ漏」といふ病気があ
る。日常生活で困るものの、放置したり、病院でも尿漏れなどと誤って診断されたりしている患者も多しとい
う。だが近年、カテーテルを使った新しい治療法などが広まり、治療効果は高いという。思い当たる人はききめず
専門の医師に相談してみよう。

カテーテルを使用 開胸せず

「リンパ漏の症状に困っ
ていても、実際に病院で治
療している人は限られてい
る」と指摘するのは、JR東
京総合病院の三原誠特任医
師だ。同病院のリンパ外科
・再建外科でリンパ漏の治
療にも積極的に取り組む。
リンパ漏とは、リンパ管
が傷つくことで中を流れる
リンパ液が体の外に漏れた
り、リンパ管が破れ、リン
パ液が首の周り、わきの下など
に多くあるリンパ節が手術な
どで傷つくと、リンパ液が
傷口などから出てきてしま
うことだ。

リンパ液は血管から漏れ
出た血液(けっしょう)や
タンパク質の成分からなる
黄色の液体で、体にたまり
た余分な水分や老廃物など
を運び、血液と並んで重要
な液体だ。体内には2〜3
リットルのリンパ液が流れて
いる。リンパ漏になると、1
日に漏れ出るリンパ液は5
00ミリから約1リットルと
個人差が大きい。「生活
に支障をきたす人も多い」
(三原医師)。漏れ出るリ
ンパ液量が多い場合、栄養
状態、免疫状態が徐々に悪

リンパ漏負担少なく治療



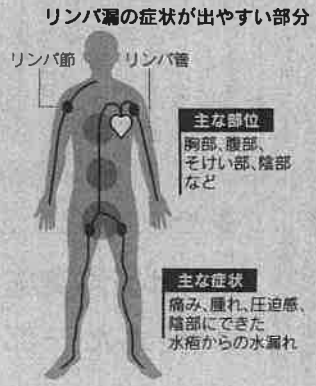
帝京大学医学部附属病院の山本真由医師はリンパ漏患者にカテーテル治療を行っている＝同病院提供

化していくリスクもある。
リンパ漏を起こす原因で
もっとも多いのは手術だ。
特にかんがふためには、がん
の転移を防ぐためにリンパ
節を大きめに切除すること
は珍しくない。このときに
リンパ管が傷つきやすい。
症状もリンパ液の漏れ以
外に、手術した部分の痛み
や腫れ、圧迫感などさまざ
まだ。体表にできた水泡(す
いぼ)にはいり水が入り、
発熱を繰り返すケースもあ
る。手術後の入院中であれ
ば、気づきやすく再手術で
リンパ漏を起しているリ
ンパ管の傷口を糸でしば

日帰りも可能 ほぼ確実に完治

針を足の付け根のそけい
部のリンパ節に刺し、造影
剤を注入。リンパ漏を起し
ている部位をX線で探して
出す。カテーテルを入れて
漏れを起している部位に
金属コイルを置き、封入剤
を注入して塞ぐ。治療時間
は1〜2時間ほどだ。開胸
や開腹をする従来法と比べ
て患者の負担が少ない。日
帰りできる場合もあり、術
後はほぼ確実にリンパ漏が
止まるといふ。

針を足の付け根のそけい
部のリンパ節に刺し、造影
剤を注入。リンパ漏を起し
ている部位をX線で探して
出す。カテーテルを入れて
漏れを起している部位に
金属コイルを置き、封入剤
を注入して塞ぐ。治療時間
は1〜2時間ほどだ。開胸
や開腹をする従来法と比べ
て患者の負担が少ない。日
帰りできる場合もあり、術
後はほぼ確実にリンパ漏が
止まるといふ。



「リンパ漏の原因部位に
あわせ、互いに患者を紹介
し合っている」
原因部位が体表に近い場
合などは、JR東京総合病
院が担当し、静脈とリンパ
管をつなぐことでリンパ漏
を治す「リンパ管静脈吻合
(ふんごう)術」をする。
体の深部や心臓近くの場合
は帝京大病院に患者を紹介
し、カテーテル治療を実施
する。JR東京総合病院の
原医師は「患者の状態にあ
った方法で対応できる。一
人で悩まず、相談してほし
い」と話す。

医師間の認知度向上に課題

国内にいるリンパ漏患者の推定人数は
不明だが、例えば、食道がんの手術後に
リンパ漏を発症する頻度はおよそ3%と
の報告もある。
医師の間でもリンパ漏の認知度は高く
ない。JR東京総合病院の三原医師は「学
会で発表しても知らない医師が多い。患
者だけでなく、医療従事者にも知ってほ
らうことが大切だ」と強調する。
帝京大学の山本真由医師は、リンパ漏
をカテーテルで治療できる医師を増やす
ため、全国の医療機関に出向き、医師へ
「リンパ友の会」という研究会を設立。
放射線科、小児科、形成外科で議論し、
リンパ漏を含むリンパ疾患への啓発と連
携を目指しているという。
リンパ漏の多くの治療は保険診療が可
能だが、一部できないものもある。リン
パ漏を引き起こしているリンパ管を見つ
け出すのに必要なリンパシンテグラフィ
ーは、2018年に保険適用され、受け
やすくなった。(高武里奈)

医療・健康面の記事やコラムに関するご意見、情報を募集しています。ファクス (03・6256・2770)
か電子メール (iryu@nex.nikkei.co.jp) でお寄せください。

き合う



「もし一度社会に出るとい
う気持ちになった。
まずは大学の生涯学習に通っ
た。経歴を話す機会があり、講
師から元日本テレビ解説委員の
倉沢治雄さんを紹介された。倉
沢さんはウェブメディアに医療

会巡る

届き、多くの図書館から注文を
もらった。励みになった。
発信を始めること、医療を体系
的に学ぶ必要性を痛感した。19
年1月に聖路加国際大学公衆衛
生大学院に出席、合格。50代半
ばからの勉強は大変だが知見を

医療健康

るの健康学



イラスト・大塚いちお
もちろん、この先、爆発的な
感染拡大が起きないとは言え
ない。そうは言っても、新型
コロナウイルス感染症に限ら
ず、誰もこの先何が起きるか
わからない。明日何が起きるかは
もちろん、1分先、1秒先でも
可成り予測がつかない。その